

～ひらこ 宝物の世界～

2026 秋号

絵本にはたくさんの言葉や表現、人との関わり、自然や生き物への興味を広げる力があります。繰り返し絵本を楽しむことで語彙が増え、想像する力や相手の気持ちを考える力も育まれていきます。また、愛情あふれた読み語りで得られる安心感や満足感は生きていく上での心の基盤を作ります。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「言葉」の領域にも、「絵本や物語に親しみ、言葉への興味や関心を持つこと」が大切な内容として示されています。そのため、敬愛学園では年間指導計画の中に絵本を位置付け、お子さまたちの興味や発達に合わせた絵本との出会いを大切にしています。絵本を通して豊かな言葉や感性を育み、学びの土台作りにつなげていきたいと考えています。ぜひご家庭でも、親子で絵本の時間を楽しんでください。



くだもの
平山 和子 作
福音館書店
(エンゼル 10月)

みずみずしくて美味しそう
な果物が「さあどうぞ」と差
し出されます。

1 歳頃になると、絵本の中
に知っている物を見付けると
指で差して大人に知らせよう
とします。そんな時は「赤い
りんごだね、美味しそうだ
ね！」などとたくさん言葉を
かけることで、お子さまは大人
の声ややりとりを心地よい
ものだと感じ、発語にもつな
がります。



**おつきさま
こんばんは**
林 明子 作
福音館書店
(ハッピー 9月)

屋根の上が明るくなって
まん丸のおつきさまが出て
きます。でもあれ？雲がお
つきさまを隠してしまい…

簡単なストーリーですが、
立派な物語絵本です。スト
ーリーのある物語絵本が楽
しめるのは3歳頃と言われ
ていますが、1～2歳頃のお
子さまでも十分楽しめます。
物語絵本の入り口にお
すすめです。



おでかけのまえに
筒井 頼子 作
林 明子 絵
福音館書店
(ドリーム 9月)

今日は家族でピクニック
に行く日。あやこは嬉しく
てお弁当を詰めたり荷物を
入れたりするお手伝い。で
もなかなかうまくいきませ
ん。

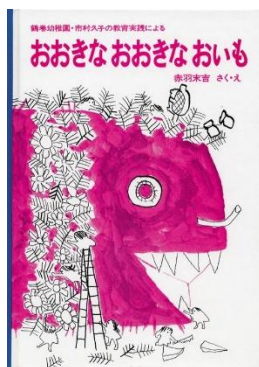
大人から見ると、いたず
らかな？と思うようなお子
さまの行動も、よく見てい
るとちゃんと理由があるも
のです。何でもやってみた
い年齢のドリーム組のお子
さまと、主人公のあやこの
姿が重なります。



**やまこえのこえ
かわこえて**
こいで やすこ 作
福音館書店
(ホープ 9月)

満月の夜遅く、きつねの
きっこは町まで油揚げを
買いに出かけます。帰り道
「油揚げおいていけ～」と
いう声が聞こえてきて…

絵本を読む大人は目で文
字を追っていますが、お子
さまは物語を耳で聞きなが
ら絵をじっくり見て楽し
みます。この絵本でも、ペ
ージのどこかに隠れている登
場人物を見つけたり、文章
だけでは読み取れない物
語を読み取ったりしている
ようです。



**おおきな おおきな
おいも**
赤羽 末吉 作
福音館書店
(レインボー 10月)

芋ほり遠足を心待ちにして
いた子どもたち。ところが雨
が降って、遠足は延期にな
ってしまいました。
一週間後の遠足までに、畑の
お芋はどれ程大きくなって
いるでしょう？子どもたちは
お芋の絵を描くことに…

見どころは14ページにもわ
たって描かれたお芋の絵！お
子さまたちはページをめく
るたびに歓声をあげます。そ
してそこから絵本の子もたち
と一緒にみんなで空想の世界
に入っていきます。



こんとあき
林 明子 作
福音館書店
(コスモス 10月)

こんはおばあちゃんが作
ってくれたきつねのぬいぐ
るみ。二人はあきが生まれ
たときからずっと一緒で
す。ある日こんの腕がほ
ろびてしまいます。二人は
治してもらうため、電車に
乗っておばあちゃんのところ
に行くことにしました。

行く先々でハラハラする
ようなハプニングが起こり
ます。相手の気持ちにな
って考えられる5～6歳頃
のお子さまにとって心に響く
一冊になることでしょう。